

まほらいな市民大学の様子

令和4年7月8日（金）

## 映画『シルク 時空(とき)をこえて』上映会と熊谷監督の話

講師 映画監督 熊谷友幸氏



2021年春に完成した映画『シルク時空をこえて』の上映と熊谷友幸監督の講話を行いました。

「お蚕様」にかかわることは学生の体験・記憶に残っていることが多く、ひとりひとりの心に響く映画と講話でした。4Kで映し出された映像の美しさ、バックに流れるきれいな音楽に時間を忘れ、映画に魅了されました。伊那谷は製糸業を支えた世界一の場所。野麦峠を越えて岡谷に来た工女の実際の様子。当時の日本の様子。さらにはアメリカ、フランスの絹の歴史をたどったストーリーに感動しました。種紙を送って外国の絹を救った話や、日本人の持つ伝統文化と美の追求といった話に、絹文化について認識を新たにしました。「絹を尊び、その美しさに魅せられてきた日本人」「日本が長く育んできた絹。科学には人間の身勝手への反省という気持ちがある。自然とともに生きる科学を目指したい。」「植物染め、本当に美しいからやっている。」といった言葉は、今を生きる私たちの心をゆさぶるものでした。

また、熊谷監督の講話には、郷土への愛情がたっぷり込められていて、「記憶を見つめ直すことで未来が見えてくる」といった言葉が印象的でした。横浜での映画上映も予定されているとの話に、多くの人に「絹の歴史」と「今に生きる絹文化と日本人の心」を知ってもらえる良い機会になることが期待できると思いました。

学生からは、「絹を深掘りしながら、様々な歴史や文化を知ることができる素晴らしい映画でした。」「とても感動しました。人と蚕との関わり方の歴史、フランス、アメリカなど世界とのつながりを再発見しました。」「シルクを見つめ直し、未来につなげたい。まさにその通りだと思った。先人の作り上げてきた歴史を見直し、未来につなげたいと思った。」といった感想がありました。